あなたも直売やりませんか？

鈴木　和子（かずこ）さん（63）

みょうが館設立当初から直売を行い、様々な農産物を出荷している鈴木さん。また今年から、はまなす産直会の新会長になりました。「昔から野菜作りが好きで、自然と直売を行うようになりました。おかげでたくさんの仲間が出来ましたし、今では生活の一部ですね。」『楽しく行う』をモットーに、直売の楽しさを広め、より元気で魅力あるみょうが館を目指しています。

■商品紹介（季節等により価格は変動します。）

①芽キャベツ 120円／120g　②たらの芽 200円／100g
③ブロッコリー苗　50円／1個　④キャベツ苗　50円/1個

■店舗紹介（みょうが館）

ＪＡあきた白神管内の農家による、自家生産物等の直売施設です。真心をこめて作った新鮮で安心・安全な農産物をお届けします。
お問い合わせ：0185-58-3005

あなたもチャレンジ！

家庭菜園

今月のテーマ ▸▸▸ 家庭菜園の日々の管理

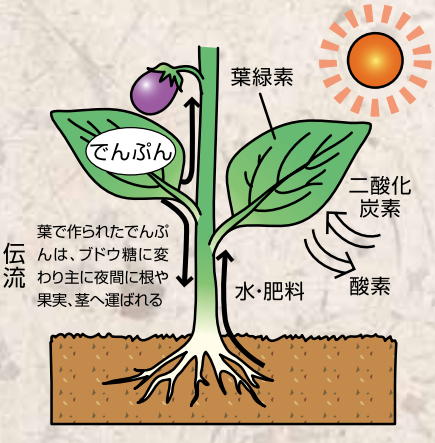
管理の狙いは、(1)健全な葉を必要な枚数付けさせ、(2)各葉によく光を当て、(3)根からの養水分を適量与え、光合成を盛んに行わせることです。ちなみに長期に収穫し続ける果菜類では、果実1個当たり、ナス、ピーマンは7～8枚、キュウリは3枚、カボチャでは15枚、スイカでは40～50枚の健全な葉数が必要です。株間を広めに取り、整枝を適正に行うこと、果実が多過ぎれば摘果して制限し、あるいは小さいうちに収穫し、1果当たりの葉数を確保することが重要になるわけです。

次に、各葉に光をよく当てるために、余分に伸びてきた脇芽や、重なり合ってお互いに陰をつくってしまう葉は摘み取ることです。トマトの脇芽は2～3日見ないと残すべき主枝と見紛うほど大きく伸びてしまいます。キュウリの子づる、孫づるは、一日で3～4cmも伸びるのです。育ち盛りには1～2日置きには必ず、見過ごさずに摘み取ってください。病害虫で葉が傷められないようにするのは当然ですが、機能が発揮できなくなった葉は早めに摘除して健全な葉や果実によく光を当てるよう心掛けることも大切です。

水分不足は葉の気孔開度を小さくし、光合成作用を大きく損ねてしまいますので、株元へのフィルムマルチ、盛夏期の敷きわらは重要です。水分の吸収量は、晴天と曇天で6～8倍も違うので、天候に応じたかん水の加減が重要です。

光合成を盛んにする

光合成　日光エネルギーを受け、葉緑素の働きによって水・肥料栄養と二酸化炭素を結び付け、葉内にでんぷんを合成する



蠍座（10・24～11・22）物事をネガティブに捉えやすいとき。意識してプラス方向に考えましょう。心を静めるには神社やお寺の参拝が吉